

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	教育委員会事務局	
	17107	図書館整備事業		課名	生涯学習課 社会教育G	
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	05:学びによる生きがいの創出			款	10:教育費
	施策の方向	02:読書活動の推進			項	05:社会教育費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト		目		04:図書館費	
事業予定期間	H 29 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等				

② 目的・概要	対象	市民
	目的	平成29年7月に亀山市教育委員会が策定した「亀山市立図書館整備基本構想」に基づき、市民の読書活動や生涯学習の拠点としての機能の向上を図るため、亀山駅前に新図書館を整備する。
概要	亀山駅前での新図書館の整備に向け「図書館整備基本計画」を策定するとともに、運用面における検討課題等について、具体的な検討を行う。なお、図書館の整備に際しては、亀山駅周辺整備事業との連携を図るとともに、市民サービスや設備など市民の意向を反映させるため、有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会やワークショップを通じて、新図書館の展開や可能性について市民の合意形成を図る。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○整備基本計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・現状の把握・分析 ・課題抽出及び基礎データの作成 ・施設計画の検討 ・基本計画のとりまとめ ○ワークショップの開催 ○図書館整備推進委員会の開催 ○先進地視察 	<ul style="list-style-type: none"> ○整備に係る課題検討 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営体制の検討 ・情報システムの検討 ・学校及びコミュニティセンターとの連携 ・市内における読書活動拠点の検討 ・広域連携の検討 ・情報発信、広報活動計画作成 ○ワークショップの開催 ○図書館整備推進委員会の開催 ○先進地視察 	<ul style="list-style-type: none"> ○整備に係る課題検討 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営体制の検討 ・情報システムの検討 ・学校及びコミュニティセンターとの連携 ・市内における読書活動拠点の検討 ・広域連携の検討 ・情報発信、広報活動計画作成 ○ワークショップの開催 ○図書館整備推進委員会の開催 ○先進地視察 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館整備基本計画策定支援業務委託先: (株)東畑建築事務所 委託額: 1,328,400円 ○ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・公開型ワークショップ 4回 ・訪問型ワークショップ 8回 ○図書館整備推進委員会 4回 ○先進地視察: 長野県伊那市、塩尻市 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・公開型ワークショップ 4回 ○図書館整備推進委員会 3回 ○先進地視察: 荒川区立図書館、東京理科大葛飾図書館、明治大図書館、浦安市立図書館、八千代市立図書館、大和市立図書館 		
事業費	計画額	事業費	6,900千円	1,000千円	1,000千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	2,029千円	975千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	1,878千円	603千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	総人件費 ②	5,858千円	7,783千円		
	一般職員	5,858千円	7,783千円		
	所要人員	0.80	1.00		
	臨時職員等	0千円	0千円		
	総コスト(①+②)	7,736千円	8,386千円		
受益者負担率	0.0%	0.0%			

				平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	市民参加型ワークショップの開催	計画値	8	8	6
			新図書館の展開や可能性についての市民の意思形成を進め、開館後の活動展開につなげるワークショップの開催数	実績値	12	4	
				単位	回	回	回
	②	名称	亀山市立図書館整備推進委員会(仮称)の開催	計画値	4	4	4
			新図書館の拡充整備に際して、基本計画を審議するため、亀山市立図書館整備推進委員会の開催	実績値	4	3	
				単位	回	回	回
	③	名称	地域読書活動拠点の合意形成	計画値	0	2	2
			地域ごとの読書活動拠点合意を行った地域まちづくり協議会数	実績値	0	0	
				単位	箇所	箇所	箇所

⑤ 事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 策定した「亀山市立図書館整備基本計画」を基に今後は市街地再開発事業と連携を図り計画的に市民ワークショップの開催を行い、基本設計との整合や管理運営方針の合意形成を図り、図書館整備の事業の進捗等の情報を共有、発信し合意形成を図っていく必要がある。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 計4回の市民ワークショップを開催し、基本設計の考え方(ゾーニング案)の合意形成を図るとともに、図書館整備の事業の進捗等の情報をHP、広報、ニュースレターにて情報共有し合意形成を図った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 亀山駅前での新図書館の整備に向け市民サービスや設備など市民の意見を反映させるため、有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会やワークショップ(講演会)を通じて新図書館の展開や可能性について市民の意見集約の場を設けた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 亀山駅前での新図書館整備に向けて有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会(3回)を開催し、ワークショップも4回開催した。ワークショップからは現状の図書館の課題を確認でき基本計画に示された方針について具体的に新図書館の基本理念と多機能性との関係を整理し、図書館のゾーニングとの整合性を考えることができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 策定した「亀山市立図書館整備基本計画」を基に今後は市街地再開発事業と連携を図り計画的に市民ワークショップの開催を行い基本設計との整合や管理運営方針の合意形成を図っていく。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 昨年度同様に市民ワークショップを開催し、図書館整備事業の進捗等の情報を共有、発信し合意形成を図っていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 図書館の整備に関しては、有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会や市民ワークショップなど市民の意向を反映させることで、新図書館の展開や可能性について市民との合意形成を図ることができ市民総意の図書館整備を進めることにつながる。	
対応時期		令和元年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育グループリーダー 小坂 博文
【最終評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課長 亀山 隆

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A			
	成果	B	A			